

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/10/08	40574	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水 解物	ウシの乳	ニュージーラ ンド又はオー ストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40575	デンカ生研株式会社	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	尿膜腔液	ニワトリの受精 卵		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40576	デンカ生研株式会社	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワク チン 百日せきワクチン	スキムミルク	ウシの乳	日本又はアメ リカ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40577	デンカ生研株式会社	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワク チン 百日せきワクチン	ペプトン	ブタの胃		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40578	デンカ生研株式会社	コレラワクチン ウイルス病秋やみ混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワク チン	ポリペプトン	ウシの乳	中国又はポー ランド	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40579	デンカ生研株式会社	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワク チン	カザミノ酸	ウシの乳	ニュージーラ ンド又はオー ストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40580	東菱薬品工業 株式会社		ウシ血清アルブミン	ウシ血清	アメリカ	製造工程	有り	無し	無し	原虫性消化管 感染	Veterinary Parasitology, 2004, 120(3), 235-242	動物(ヒト含む)から採取・単離されたBlastocystis属19検 体について、分子学的・系統発生学的に分析した結果、 人畜共通感染症となり得る可能性が示唆された。
											微孢子虫類感 染	Parasitology Research, 2004, 92(4), 328-334	牛の糞便から5種類の遺伝子型のEnterocytozoon bieneusiが分離された。分離株のうち、人及びその他の 家畜と同じクラスターを形成するものがあった。
											ポツリヌス中毒	Veterinary record, 2004, 154(23), 734-735	獣医学研究機関はイギリス及びウェールズで牛のポツ リヌス中毒と疑われる症例の顕著な増加を認めた。糞 便は適切に処理されるべきである。
2004/10/08	40581	東菱薬品工業 株式会社		パトロキソピン	蛇毒		有効成分	無し					
2004/10/08	40582	財団法人阪大 微生物病研究	インフルエンザワクチン	尿膜腔液	発育鶏卵		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_04.0 5 The Lancet, 2004, 363(9409), 587-593, 2004/02/21	カナダでトリインフルエンザA型(H7N3)によるヒトへの初 めての感染が確認された。 オランダの養鶏場でトリインフルエンザA型(H7N7)が流 行し、調査の結果、ヒトへの感染も認められ、予想以上 に家禽を扱う人に感染していた。ヒト-ヒト感染も見られ た。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	Weekly epidemiological record, 2004, 79(32), 291-292	東南アジア地域で再び、高病原性トリインフルエンザA型(H5N1)がトリで流行した。H5N1は風土病になってきている。FAO、OIE、WHOが協力してネットワークを作ることになった。
											インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_08_12	ベトナムで2004年2月以来初めてのトリインフルエンザが発生し、死亡者が発生した。
2004/10/08	40583	財団法人阪大微生物病研究	発疹チフスワクチン	卵黄囊	発育鶏卵		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_04_05	カナダでトリインフルエンザA型(H7N3)によるヒトへの初めての感染が確認された。
											インフルエンザ	The Lancet, 2004, 363(9409), 587-593, 2004/02/21	オランダの養鶏場でトリインフルエンザA型(H7N7)が流行し、調査の結果、ヒトへの感染も認められ、予想以上に家禽を扱う人に感染していた。ヒト-ヒト感染も見られた。
											インフルエンザ	Weekly epidemiological record, 2004, 79(32), 291-292	東南アジア地域で再び、高病原性トリインフルエンザA型(H5N1)がトリで流行した。H5N1は風土病になってきている。FAO、OIE、WHOが協力してネットワークを作ることになった。
											インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_08_12	ベトナムで2004年2月以来初めてのトリインフルエンザが発生し、死亡者が発生した。
2004/10/08	40584	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	SPFニワトリ胚	SPF発育鶏卵		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_04_05	カナダでトリインフルエンザA型(H7N3)によるヒトへの初めての感染が確認された。
											インフルエンザ	The Lancet, 2004, 363(9409), 587-593, 2004/02/21	オランダの養鶏場でトリインフルエンザA型(H7N7)が流行し、調査の結果、ヒトへの感染も認められ、予想以上に家禽を扱う人に感染していた。ヒト-ヒト感染も見られた。
											インフルエンザ	Weekly epidemiological record, 2004, 79(32), 291-292	東南アジア地域で再び、高病原性トリインフルエンザA型(H5N1)がトリで流行した。H5N1は風土病になってきている。FAO、OIE、WHOが協力してネットワークを作ることになった。
											インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_08_12	ベトナムで2004年2月以来初めてのトリインフルエンザが発生し、死亡者が発生した。
2004/10/08	40585	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ニワトリ肉エキス	ニワトリの肉、骨		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_04_05	カナダでトリインフルエンザA型(H7N3)によるヒトへの初めての感染が確認された。
											インフルエンザ	The Lancet, 2004, 363(9409), 587-593, 2004/02/21	オランダの養鶏場でトリインフルエンザA型(H7N7)が流行し、調査の結果、ヒトへの感染も認められ、予想以上に家禽を扱う人に感染していた。ヒト-ヒト感染も見られた。
											インフルエンザ	Weekly epidemiological record, 2004, 79(32), 291-292	東南アジア地域で再び、高病原性トリインフルエンザA型(H5N1)がトリで流行した。H5N1は風土病になってきている。FAO、OIE、WHOが協力してネットワークを作ることになった。
											インフルエンザ	WHO/csr/don/2004_08_12	ベトナムで2004年2月以来初めてのトリインフルエンザが発生し、死亡者が発生した。
2004/10/08	40586	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 水痘抗原	ウシ血清	ウシの血液	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/10/08	40587	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	牛肉消化液	ウシの肉	オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40588	財団法人阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン	脱繊維牛血液	ウシの血液	米国(次回種菌培養よりニュージーランド産に変更予定である。)	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40589	財団法人阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	カザミノ酸	ウシの乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40589	財団法人阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシの乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40590	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	乳糖	ウシの乳	オランダ、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド	添加物	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40591	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ペプトン	ウシの乳	ニュージーランド、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40592	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリアトキソイド 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 水痘抗原	ラクチオン酸エリスロマイシン	ウシの乳	オランダ、米国、カナダ、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40593	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥痘そうワクチン 痘そうワクチン	ウシの皮膚	ウシの皮膚	該当なし(製造中止品目のため)	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	動物医薬品検査所年報, 2003, 40, 21-23	日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。
2004/10/08	40594	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	SPFウズラ胚	SPF発育ウズラ卵		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	Virology, 2003, 310(1), 8-15	H1~15のインフルエンザA型ウイルスがウズラで複製されるか実験した結果、H15以外の14種類のサブタイプのウイルスが複製された。ウズラがトリインフルエンザウイルス媒介の中間宿主として働く可能性を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/10/08	40595	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	人血清アルブミン	ヒトの血液		添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病 コロナウイルス	Journal of Pathology, 2004, 203(3), 733-739 Nature Medicine, 10(4), 368-373, 2004/04/01	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。 オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCoV-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
2004/10/08	40596	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ブタ肉エキス	ブタの肉、脂肪		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
2004/10/08	40597	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 水痘抗原	トリプシン	ブタの臓腑		製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
2004/10/08	40598	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 水痘抗原 日本脳炎ワクチン	コレステロール	ヒツジの毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40599	財団法人阪大微生物病研究会	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	マウスの脳	マウス		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40600	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥まむし抗毒素 乾燥破傷風抗毒素 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウマ血清	ウマの血液		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/08	40601	財団法人阪大微生物病研究会	感動弱毒生水痘ワクチン 水痘抗原	MRC-5	ヒト胎児肺二倍体細胞		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/12	40602	富士製薬工業株式会社		トロンピン	ウシの血液	ニュージーランド、米國	有効成分	無し	無し	無し			
2004/10/12	40603	富士製薬工業株式会社		トロンボプラステン	ウシ又はブタの肺	ウシ:ニュージーランド、ブタ:デンマーク	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/10/12	40604	伊藤ライフサイエンス株式会社	バルナパリンナトリウム	バルナパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分	有り	無し	無し	狂犬病	ProMED, 20040414-0060 (REGIONS.RU, 2004/04/10)	ロシア、Stavropol地域での動物の狂犬病症例数が2003年2倍となった。
											ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Pork Magazine, 2004/05/18)	若いブタはウエストナイルウイルスへの感受性が高い可能性がある。
											口蹄疫	ProMED, 20040802-0010 (Xinhuanet.com, 2004/07/30)	フィリピンの農場3箇所で口蹄疫が発生した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20)	中国当局が始めてトリインフルエンザA型(H5N1)をブタで発見した。それに対するWHOとFAOからのコメント。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002~2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0080 (VOV news, Yahoo news, My way news)	ベトナム、マレーシア、タイ、中国における鳥インフルエンザの対応について。
											インフルエンザ	ProMED, 20040824-0020 (PNAS 101(28) 10452-10457, Channelnewsasia.com 2004/08/23)	中国の研究者が発表した論文に対し、中国の農業省は、ブタで鳥インフルエンザウイルスが確認されたとする報道を否定した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040825-0080 (Channelnewsasia 2004/08/24)	中国当局は、鳥インフルエンザウイルスの致死性株がブタで確認されているが、流行とはなっていないと発表した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040825-0010, (The Kansas City Star, China Daily)	農業省は110万個体の家禽及び豚について、病原体及び血清検査を実施した。トリインフルエンザウイルスに感染した豚は確認されなかった。
											インフルエンザ	ProMED, 20040827-0020 (CIDRAP News, WHO)	H5N1型鳥インフルエンザのブタへの感染は、中国語論文にのみ公表されていた。ヒト及びトリインフルエンザウイルスの一部がブタに適應し、ブタ集団中で感染が蔓延し始める可能性がある。
											インフルエンザ	Population and Public Health Branch, FluWhatch, weeks 33-34	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/08/23	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
											インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(34), 2004/08/24	ベトナムのH5N1の流行に関する調査の経過と、中国のH5N1型鳥インフルエンザについては詳細なデータが得られた時点でWHO, FAO, OIEが評価する。WHOは情報が少ないので評価が難しいため、H5N1を経験した国にさらなる研究を求めている。
											インフルエンザ	海外感染症情報, 2004, 6(34)	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
インフルエンザ	Herald Tribune, 2004/08/21	中国で発表されたブタでのH5N2型感染に対するコメント。											
インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。											
E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(1), 38-44	E型肝炎ウイルスはインドネシアの風土病であると信じられてきたが、パリでは蔓延しており、これがブタを介した人畜共通感染症であることを示唆。											
E型肝炎	Emerging Infectious Disease, 10(5), 953-955	流布しているE型肝炎ウイルスの類似領域と100%一致するウイルスが、英国のブタから検出。先進国におけるE型肝炎ウイルス感染が人畜共通感染症である可能性を示唆。											
2004/10/12	40605	宇治製薬株式会社	コンドロイチン硫酸コロイド	コンドロイチン硫酸ナトリウム	牛の軟骨	米国	添加物	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/10/12	40606	日新製薬株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの気管	アメリカ合衆国、カナダ、ウルグアイ、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド	添加物	無し	無し	無し			
2004/10/12	40607	東菱薬品工業株式会社		ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液「トーピシ」	ウサギ皮膚	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/10/13	40608	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	デオキシリボヌクレアーゼ I	ウシ膵臓	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40609	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	リボヌクレアーゼA	ウシ膵臓	アメリカ、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40610	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	マウス由来モノクローナル抗体	マウス膵臓		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40611	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	インスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40612	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	ヤギIgG	ヤギ血液	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40613	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	マウスモノクローナル抗体	マウス膵臓細胞と骨髓腫細胞のハイブリドーマ		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40614	株式会社ベネシス	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ	有効成分	無し	無し	無し			
2004/10/13	40615	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン 乾燥抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病 アメリカ・トリパノソーマ症 重症急性呼吸器症候群 重症急性呼吸器症候群 クロイツフェルト・ヤコブ病 クロイツフェルト・ヤコブ病 パベシア症 ウイルス感染	HHS, FDA/ 79th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/03/18 第73回日本寄生虫学会大会II-C-37 Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630 Journal of Pathology, 2004, 203(2), 631-637 Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004 Journal of Pathology, 2004, 203(3), 733-739 日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004 ProMED-mail, 20040709.1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給呈し政策を変更する必要はないとしている。 ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。 SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。 SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。 CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。 リンパ網内系の検体12.674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。 1999年に起きた輸血によるパベシア症感染の事例について、また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。 ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により臓臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか不明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフェレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス	FDA/Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
2004/10/15	40616	テルモ株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/10/13	40617	アベンティスパスツール第一ワクチン株式会社	黄熱ワクチン	発育鶏胚	発育鶏卵		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/13	40618	日本メジフィジックス株式会社	テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	GDC MMWR, 53(32): 738-739, 2004.08.20	ジョージア州でWNVに感染した患者2名は同じ透析機を用いており、同じ透析機を使用した患者はもう一人いることが分かったが、この患者は検査結果は疑わしかったがWNVと確定できなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子のタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
2004/10/18	40619	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/18	40620	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	ウマの血漿		有効成分	無し	無し	無し			
2004/10/18	40621	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胎盤組織	ヒト胎盤		製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/18	40622	大洋薬品工業株式会社	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分	有り	無し	無し	野兔病	ProMED mail, 20040713, 1882	野兔病の可能性の患者は、高熱と咳嗽を呈したが、重症化しなかった。野兔病空気感染の第一媒介者が兎であるという理論は確立できない。
2004/10/19	40623	持田製薬株式会社	トロンピン 日本薬局方 トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Science Foundation, 2004/05/12	CDWの病因に感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWDが伝播される可能性がある。(Emerging Infectious Diseaseの5月の掲載記事について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Telegraph, 2004/07/04	フランス政府の保健医学機構の発表によると、フランスにおいて過去13年間に公式に発表された症例数の300倍に当たる30万頭以上のウシが狂牛病に感染したと概算している。(Veterinary Researchに論文掲載)
2004/10/19	40624	持田製薬株式会社	トロンピン 日本薬局方 トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Science Foundation, 2004/05/12	CDWの病因に感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWDが伝播される可能性がある。(Emerging Infectious Diseaseの5月の掲載記事について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Telegraph, 2004/07/04	フランス政府の保健医学機構の発表によると、フランスにおいて過去13年間に公式に発表された症例数の300倍に当たる30万頭以上のウシが狂牛病に感染したと概算している。(Veterinary Researchに論文掲載)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要	
2004/10/19	40625	持田製薬株式会社	インターフェロン ベータ 硫酸フラジオマイシン、結晶トリプシン	結晶トリプシン	ウシ膵臓	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	National Science Foundation, 2004/05/12	ODWの病因に感染した動物の屍骸や排泄物で汚染された環境を介して、CWDが伝播される可能性がある。(Emerging Infectious Diseaseの5月の掲載記事について)	
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Telegraph, 2004/07/04	フランス政府の保健医学機構の発表によると、フランスにおいて過去13年間に公式に発表された症例数の300倍に当たる30万頭以上のウシが狂牛病に感染したと概算している。(Veterinary Researchに論文掲載)	
2004/10/19	40626	持田製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有り	無し	無し	レトロウイルス	The Times Edition 4M, 16, 2004/03/19	カメルーンで1100人中10人からサル泡状ウイルス(SFV)抗体が検出された。野生の霊長類からヒトへのSFVの感染伝播を確認した。(Lancetへ報告)	
											ウイルス感染	感染症誌, 2004, 178(2), 129-137	広島県の小児の急性呼吸器感染症の患者377名を対象として調査した結果、77名のhuman metapneumovirus陽性患者を確認した。	
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News UK edition, 2004/07/15	英国で虫垂及び扁桃を検査したところ12,674件体中3検体がvCJDの兆候を示した。数千名がvCJDキャリアである可能性を指摘した。Journal of Pathologyの論文を引用した報道。	
											コロナウイルス	IASR, 25(7) 2004/07/05	小児呼吸器感染症患者から採取した検体より、ヒトコロナウイルス-NL63の検出を試み、複数の検体から本邦初となる同ウイルスの検出に成功した。	
												HIV	New Scientist, 2004/08/09	HIV様ウイルスの新種株が野生動物に感染循環しており、その肉を食べるヒトに感染伝播していることが示唆される。
2004/10/20	40627	帝国臓器製薬株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無し	無し	無し				
2004/10/21	40628	財団法人化学及血清療法研究所	ヒスタミン加入免疫グロブリン製剤 人免疫グロブリン	免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。	
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。	
											重症急性呼吸器症候群 コロナウイルス	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863 Nature Medicine, 10(4), 368-373, 2004/04/01	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。 オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCoV-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。	
2004/10/21	40629	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラドウォーター	ブタ脂肪	米国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Prork Magazine 05/18)	若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。	
2004/10/21	40630	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタ胃液	不明	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Prork Magazine 05/18)	若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。	
2004/10/21	40631	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、豚肉、ブタラドウォーター	ウシ: 米国、ウマ: 米国、カナダ、ブタ: 米国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Prork Magazine 05/18)	若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。	
2004/10/21	40632	中外製薬株式会社	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末 トラスツズマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタ膵臓	1.米国、カナダ 2.日本、米国、カナダ、フランス	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Prork Magazine 05/18)	若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。	
2004/10/21	40633	中外製薬株式会社	エポエチンベータ(遺伝子組換え) トラスツズマブ(遺伝子組換え) レノグラステム(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	無し	無し	無し				
2004/10/21	40634	中外製薬株式会社	エポエチンベータ(遺伝子組換え) レノグラステム(遺伝子組換え)	DMEM/F12	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し				

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/10/21	40635	中外製薬株式会社	エポエチンベータ(遺伝子組換え) レノグラスチム(遺伝子組換え)	ブタインスリン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	ProMED, 20040520-0060 (Prork Magagine 05/18)	若いブタほどWNV感染性が高く、加齢につれて感受性が低くなる。
2004/10/21	40636	中外製薬株式会社	エポエチンベータ(遺伝子組換え) レノグラスチム(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血清	米国、オーストラリア、 ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/21	40637	社団法人北里研究所	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ヒツジ血清	ヒツジ血液	①～③米国、 ④～⑥不明	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593	フランスの研究グループによると、スクレイビーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。
2004/10/21	40638	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593	フランスの研究グループによると、スクレイビーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。
2004/10/21	40639	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	トリプリン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 84, 1021-1031	BSEのブタに対する感染性について調査するため、異常プリオンの頭蓋内・静脈内・腹腔内の同時、及び経口摂取の実験を行った結果、ブタにもBSE感受性があることが確認されたが、経口投与では感染されない
											クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/CFRAN FACT sheet, News Release, 2004/07/09	FDAは従来BSE発生国以外の原産国由来の反芻動物肉骨粉のブタ飼料への使用を認めていたが(FDA statement, 2004/05/04)、7月に新たに反芻動物由来特定危険部位を全ての動物飼料として使用することを禁止する規制が提案された。
											インフルエンザ	ProMED, 20040709-0070 (WHO/CSR Disease Outbreaks news, 2004/07/08, Nature 2004, 430, 209-213)	H5N1型従来考えられていたよりも広範囲に拡大し風土病化しており、根絶がより困難であることが示唆されるため、長期にわたる対策が必要である。
											インフルエンザ	CDC, Travelers' Health, 2004/07/14	2004年6月末から7月にかけてアジアで家禽へのH5N1型鳥インフルエンザが再流行しているが、ヒトの感染は報告されていない。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/18	2004年8月にベトナムで起きた鳥インフルエンザによるヒトの死亡例3例のうち、2例がH5N1型であることが確定された。
											インフルエンザ	PNAS, 2004, 101(28), 10452-10457	1999年～2002年に分離したウイルスによる実験により、21検体のH5N1型株が中国南部の健康なアヒルから検出された。中国大陸においてアヒルの間でH5N1型が流行していることを示唆する。
											インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
											インフルエンザ	Journal of Virology, 2004, 78(16), 8609-8614	H9N2型ウイルスは、マウス・ニワトリ・ブタで複製可能であり、遺伝的・生物学的に多様化し、大流行へとつながることが示唆される。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002～2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
2004/10/21	40640	社団法人北里研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	①②日本、③不明	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	Journal of Virology, 2001, 75(8), 3605-3612	ALV-Eの感染性等について、内因性ALV-プロウイルス(ev loci)の調査を行った結果、5つのev lociが見出され、2つの非欠損性ev lociからは感染性ALV-Eを発現していた。ウズラ細胞へ感染することも確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	Journal of Virology, 2003, 77(2), 1105-1111	黄熱病ワクチン3製品について調査を行ったところ、RT-PCR法によりALV-EとEAVのRNAが検出された。
											インフルエンザ	ProMED, 20040709-0070 (WHO/CSR Disease Outbreaks news, 2004/07/08, Nature 2004, 430, 209-213)	H5N1型従来考えられていたよりも広範囲に拡大し風土病化しており、根絶がより困難であることが示唆されるため、長期にわたる対策が必要である。
											インフルエンザ	CDC, Travelers' Health, 2004/07/14	2004年6月末から7月にかけてアジアで家禽へのH5N1型鳥インフルエンザが再流行しているが、ヒトの感染は報告されていない。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/18	2004年8月にベトナムで起きた鳥インフルエンザによるヒトの死亡例3例のうち、2例がH5N1型であることが確定された。
											インフルエンザ	PNAS, 2004, 101(28), 10452-10457	1999年～2002年に分離したウイルスによる実験により、21検体のH5N1型株が中国南部の健康なアヒルから検出された。中国大陸においてアヒルの間でH5N1型が流行していることを示唆する。
											インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
											インフルエンザ	Journal of Virology, 2004, 78(16), 8609-8614	H9N2型ウイルスは、マウス・ニワトリ・ブタで複製可能であり、遺伝的・生物学的に多様化し、大流行へとつながることが示唆される。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002～2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
2004/10/21	40641	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻疹ワクチン	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	日本、米国	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	Journal of Virology, 2001, 75(8), 3605-3612	ALV-Eの感染性等について、内因性ALV-プロウイルス(ev loci)の調査を行った結果、5つのev lociが見出され、2つの非欠損性ev lociからは感染性ALV-Eを発現していた。ウズラ細胞へ感染することも確認された。
											ウイルス感染	Journal of Virology, 2003, 77(2), 1105-1111	黄熱病ワクチン3製品について調査を行ったところ、RT-PCR法によりALV-EとEAVのRNAが検出された。
											インフルエンザ	ProMED, 20040709-0070 (WHO/CSR Disease Outbreaks news, 2004/07/08, Nature 2004, 430, 209-213)	H5N1型従来考えられていたよりも広範囲に拡大し風土病化しており、根絶がより困難であることが示唆されるため、長期にわたる対策が必要である。
											インフルエンザ	CDC, Travelers' Health, 2004/07/14	2004年6月末から7月にかけてアジアで家禽へのH5N1型鳥インフルエンザが再流行しているが、ヒトの感染は報告されていない。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/18	2004年8月にベトナムで起きた鳥インフルエンザによるヒトの死亡例3例のうち、2例がH5N1型であることが確定された。
											インフルエンザ	PNAS, 2004, 101(28), 10452-10457	1999年～2002年に分離したウイルスによる実験により、21検体のH5N1型株が中国南部の健康なアヒルから検出された。中国大陸においてアヒルの間でH5N1型が流行していることを示唆する。
											インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
											インフルエンザ	Journal of Virology, 2004, 78(16), 8609-8614	H9N2型ウイルスは、マウス・ニワトリ・ブタで複製可能であり、遺伝的・生物学的に多様化し、大流行へとつながることが示唆される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002~2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
2004/10/21	40642	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ2a (遺伝子組換え)	マウスの腹水由来成分	マウスの腹水	アメリカ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/21	40643	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ2a (遺伝子組換え) 注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/10/21	40644	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ2a (遺伝子組換え) 注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス	ODC MMWR, 53(13): 281-284, 2004/04/09	輸血後WNV感染が認められたことについて。WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合はNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。
											HIV	Transfusion, 2004, 44(6), 929-933	米国における、ミニプールNAT実施後2例目のウインドウ期間中の献血者からのHIV伝播の報告。18歳のドナーから2人に感染した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 422-428	カナクイザルに、BSEに感染したカナクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February7, 411-412	同じLancetの論文に対して意見を述べている。BSE動物の脳ホモジネートを経口及び静脈内投与して、感染実験をしているが、血液による推定感染力は数段低いと考えられる。この症例が輸血と無関係である可能性は極めて低い。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
2004/10/22	40645	バイエル薬品株式会社	オクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてGWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Microsens news press release, 204/05/26	Microsens Biotechnologies社により、動物及びヒトの血液中の異常プリオンを高い特異性及び選択性で検出できるCJD検査が開発された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 1003-1006	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所です約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA News release	米国農務省USDAと保険社会福祉省HHSはBSEに関する安全強化対策を発表した。